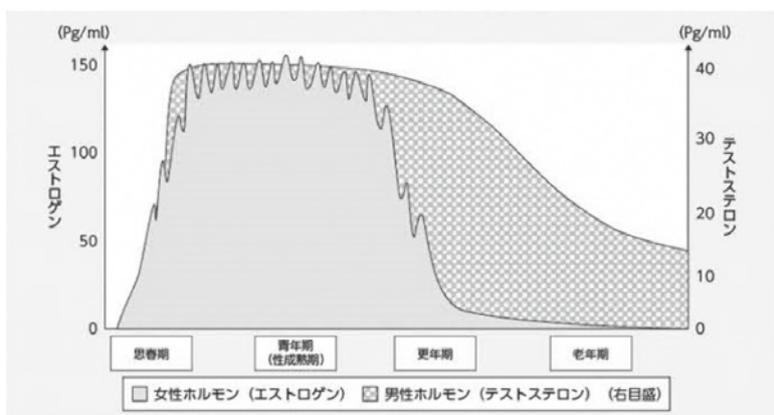


「SRHR」について 深く知ってほしい

答 町でも広報していく



伊佐 園恵 議員



女性はグラフのギザギザが激しい。
男性よりも、ストレス等で心と体に10歳ごろから、不調をきたしやすい

問 南風原町の皆さんにも、SRHR(読み方…エスアールエイチアール)について深く知ってもらいたいが、その柱は何か。

副町長 SRHRの柱は、「性の健康、生殖の健康、そしてそれらを自分で決める権利」である。

問 ジェンダー平等についての取り組みは、どのようなものがあるか。

副町長 まじゅんプランの理念である「すべての人が互いに認めあい、共に支えあう、黄金南風の平和郷」の実現に向け、男女共同参画の推進や啓発、多様性の尊重を進めている。

問 「SRHR」は、1994年に国連が主催、国際人口開発会議で採択された。様々な差別や、不利な立場に置かれている女性や少女、またすべての人たちが「自分で選択できること」が解決の糸口になるとしている。「生理痛は我慢する時代ではない」や「公衆施設での搾乳室の設置」もその一部になる。静岡県富士市のように公式HPにまとめ、本町でも掲載可能か。

国保年金課長 他市町村HPについて確認しながら、広報していきたい。

問 「うれしいとき」「悲しいとき」涙が出る。男の子だから、何才でも泣いていけないことはない。誰かに気持ちを聞いてもらうのは、よい考えだ。また、理想とは違う自分の体に悩んでいる人もいる。それは、友だちやインターネット、雑誌、テレビの体はこうあるべきというメッセージからかもしれない。どんな、あなたでもステキである。人権とは、人間が人間らしく生きるということ。つまり、誰もがみんな自分でこうしたいと思う生き方ができるよりわかりやすくHPにまとめたい。しいかどうか。

国保年金課長 より分かりやすいように、HP掲載できるように検討する。

一こんな質問もしました
 ・津嘉山小学校施設整備の充実は十分か
 ・次期町長選挙の候補者選考を聞く